

# 東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京センター内 〒186-0002 東京都国立市東1-4-20-102

2016年5月号《No.11》

TEL 042-577-6181 FAX 042-577-5574

## 今月の聖句

神はわたしたちの避けどころ、わたしたちの砦。苦難のとき、必ずそこにいまして助けてくださる。

詩編 46 章 2 節

## 主題

国際会長	Wichian Boonmpajorn	「信念のあるミッション」
アジア地区会長	Edward K.W.Ong	「愛をもって奉仕をしよう」
東日本区理事	渡邊 隆	「原点に立って、未来へステップ」
あずさ部長	標 克明	「ワイズメンとして一歩前」
武蔵野多摩会長	宮内 友弥	「共に学びあい、活かされる社会を目指し」

## ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

### 五つの誓い

1. 自分を愛するように隣人を愛そう
1. 青少年のためにYMCAにつくそう
1. 世界的視野を持って国際親善をはかろう
1. 義務を果たしてこそ権利が生ずることをさたろう
1. 出席第一と奉仕第一とを旨としよう

## ワイズメンズクラブの目的

1. 個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する。
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する。
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する。
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる。
5. 健全な交友関係を作り出す。

4月の出席率 1005% 在籍者 14名 出席者 12名 メーキャップ2名 ゲスト7名

にこにこ 23500円 (5月)

## 京武蔵野多摩クラブのみなさまへ

山田 公平

先日は楽しく懐かしい会に参加でき、多くの方々と意見交換ができました。話すことや考えることはできますが、この漠とした内容をどう実行するかというとウンと考えてしまいます。話の中でシンプルライフというものがありました。あれもこれもほしがるのでなく、何が本当に必要かを考えて買う、手に入れるものも修理してでも長持ちするかとかと考える。車という便利な乗り物の前にバスや電車、あるいは自転車や歩きを選ぶ。小さいシンプルな部屋でも、自分を楽しむようにする。そんな生き方を選

択していく人が増えつつあるということです。

もう一つ、先日は話しませんでした。ひらめきというか、心の中のつぶやきのような直観的なモノが、意外と大切なものではないかと気づくことです。十分に考えて、決めることも大切ですが、その過程の中で、ひらめきが心の中に浮かび上がってくる時、それにも心に向けていくことが意外に良い選択をすることにつながるのではということ。

ワイズにいと、毎年同じことをしているような感覚が生まれます。毎年役員が交代し、マニュアルもあり、そういえば昨年はこの時期にこんなことをしたので今年も…というようになります。武蔵野多摩クラブに3人の新メンバーが入ってきました。その3人が新しいひらめきのような感覚を私たちに与えてくれているのではと、私の心にひらめきました。今がチャンス！！

2年ぐらい前から、2015年末には退職して日本に戻る。そうしたら何をしようかなと考えることが多くありました。収入を得るための仕事も必要ですが、それ以上に何か自分の関心とこれまでの経験を活かせるものを選びたいと考え、着いたところが高齢者のための街づくりという漠然としたもの。家で最期までと希望する老人が80%いると言われていたのですが、実際には80%以上が病院や施設で亡くなっているのが日本の現実。家で死ぬことが目的ということではなく、死ぬまで家で生きること、すなわち自分らしく生き、自分らしく最期を迎えるためには、どのようにすればできるのかを考えよう、そして何が必要かを考えているところです。今度はこのテーマで一緒に話し合いませんか？

## 2016年5月例会の様子

日 時 5月11日19時 会 場 西東京センター

司 会 山本ワイズ 聖書・祈祷 伊佐ワイズ 受付 渡辺・松田ワイズ

ゲスト 笠利 真理子・ほさなさん（笠利メネット・コメント）並木真一ワイズ（八王子クラブ）  
山田マリーン山田メネット 黒見由美さん（麻生ワイズの友人）小出 雅生ワイズ（香港在住大学で日本語教育の先生）飛び入り

卓 話「アジアで感じた社会的課題」 山田 公平 前YMCAアジア太平洋同盟総主事  
もう帰国半年になります。現在は宇都宮クラブメンバーで元多摩クラブメンバーはゲストとしてできるだけ参加したいと思います。

香港に赴任しまずTMC（唯一英語で例会をするティムサッティ）クラブに入りそこを根拠に、アジア太平洋同盟総主事の活動をしました。今日の卓話のテーマはYMCAの役割のYは何をすべきかの視点で「アジアで感じた社会的課題」です。

まずTSTとTMT（武蔵野多摩クラブがIBCを結び毎年交換訪問が行われるようになったこと。この2クラブがスポンサーになってモンゴリアにウランバートルクラブの立ち上げに寄与してきたことが深く心に残りました。

ホンコンいた6年半、年間30回出張し見て聞いて体験しての思いです。アジア太平洋同盟には24の国と地域にYMCAが有りその国政とは関係なく独立しているので台湾にも香港にもマカオにも中国にもあります。東アジアには七つの国と地域がありそれぞれの地域にそれぞれ独特の歴史と伝統とプライドに裏打ちされています。もう一つ東アジアは西欧から合理性と個人主義を学びそれが混在しています。これが東アジアの特徴だなあと実感しました。

一番多くのYを持つのはインドで800有りそのうちの700はスタッフのいないYMCAです。日本では運営困難と思われませんが自意識が高くてスタッフがいるYMCAでも押しまわられています。でも成り立っています。

東アジアで格差が広がっています、一番広がっているのは香港です、3~4割は貧困層で6畳く

らの部屋に2~3家族は当たり前、部屋にベッドがぎっしり一つのベッドが一人暮らしのお年寄りのスペース外出時にはそれに鍵、そういう部屋があつた高いビルに沢山あります。競走社会は日本の比ではなく幼稚園から英才教育、語力は日本の高校生程度です。リッチさは日本のリッチの100倍です。東南アジアは植民地の人権無視をされた苦い時代の後ほとんど成長しないままです。

南アジア、インド、ネパール、スリランカの宗教の強さに驚きますヒンズー教8割、イスラム教徒が1割キリスト教徒がちらほら、ですから宗教に誇りを持ち大事にする仲間意識の強さが主流が10年ごとに交代するといった他との付き合いが薄い国柄で宗教にかかわりなくYMCA活動といつてもなかなか・・・職業によるカーストの根強さもその表れの一つです。

パシフィックはオーストラリア・ニュージーランド・フィジーだけでとても変化が激しいです。(3月の小山ワイズのBFオーストラリアの旅の旅を思い出していた)  
人が一人ひとりが行動を起こす動機、人間は人間中心、個人優先を日本は隠して表し、アジアは露骨に表します。

この人間中心個人優先のエゴイズムがヨーロッパ・アメリカではそうで無くなってきているのか見えなく為りつつあります。

歴史的にアジアは農業を生産のベースとしてきましたが欧米の影響が工業生産となりここ30年の急激の上昇に民度がついて行けない状態です。

その表れは国益と名誉です。お話しした通りそのためには学歴と高所得です。

ヨーロッパではEUに見られるように国益から世界益に進む傾向を見せています。

世界益で考えなければならぬときに国益で解決しようとしているためいろいろな問題が起きています。そこにYMCAは視点を変える働きをしなければなりません。

今の若者がどうゆう人材に育っていくか考えていくと、自分は何のためにつくられているのか考えると、私たちのやるべきことが自ずと見えてくるのでは、そしてどのように進めばよいか・・・

## にほんご学院のイベントに参加して

石丸 由利

東京山手ワイズメンズクラブ会長の浅羽さんにお誘いいただき、5月6日、にほんご学院の授業の一環で行われた『しるしるニッポン!』の特別授業に参加させて頂きました。事前に、にほんご学院の小野校長、主任の松浦先生、星野さん、浅羽さん、又、担任の藤原先生、矢能先生も、授業の合間の時間には顔を出して下さり、全体の流れの打合せが行われました。その後もメールで、細かい流れの確認の準備が行われていました。

当日は、にほんご学院の生徒に加えて、社会体育専門学校保育科1年生も参加して、総勢50名以上の若者の会になりました。

3時過ぎにスタートして、松浦先生の始まりの紹介の後、早速星野さんのアイス・ブレイクでスタート!お互いの紹介を兼ねて握手をするゲームから、みんなを上手に誘導して、お互いの顔が見える様な大きな円体系に。続いて、にほんご学院の生徒さんでもすぐに歌えるように、繰り返しの追いかけてこの歌、『大きな歌』を、浅羽さんの指導で歌う頃にはすっかりみんな打解けて、次々繰り返されるゲームも、言葉を上手に生かして、日本語を学んでいる皆さんにもわかりやすく工夫されていて、和気あいあいと進行していきました。みんなで歌った『ふるさと』の歌も、歌詞の言葉は難しいのですが、美しいメロディーと、途中から歌詞を助ける動きが付いた途端、にほんご学校の皆さんも一生懸命覚えようとしていたのが印象的でした。きっと、保育科の皆さんにとっても有意義な時間になった事と思います。浅羽さんが我がクラブの例会に参加された事がきっかけでしたが、YMCAの活動の一面を見れたこと、そしてゲームの面白さ触れて楽しい時間でした。

## <西東京 YMCA 便り>

出沼一弥

### <担当主事のひとりごと>

四季の中で一番春が好きです。その中でも5月が好きなのは、単純な理由で自分の誕生日だからです。

桜がキレイに咲き、木々の葉が青々と新緑で、風の心地の良い春（5月）は、冬の寒さに耐えたご褒美のように感じます。また生命の力、再生を感じるときでもあり、気持ちを変えて新しく始められる季節だと思っています。毎年やってくる春ですが、今年は「新しい場」で「新しい出会い」「新たな挑戦」にあふれていて、とてもやりがいを感じています。

誕生日が近付くと部屋に大きな花となる「シャクヤク」が毎年飾られます。母からの誕生日のプレゼントですが、そのことを初めて気付いた小さかった僕は「男なのに何で花なんだよ！」「もっと違うのが欲しい！」と文句を言ったことがあります。すると、僕の生まれた朝に母の親友が「シャクヤク」をお祝いで送ってくれたこと、そのことを嬉しく思った母は「健やかに育つ様に」「大輪を咲かす様に」僕に「シャクヤク」を送るのを決めたことを教えてくれました。

毎年飾られる「シャクヤク」ですが、イギリスへ留学をしたときも、もちろん送ってくれました。しかし「シャクヤク」がイギリスになかったのか「カーネーション」になっていましたが、母の想いは伝わりました。

昔はあまり気にも留めなかった「シャクヤク」も、今ではとても大切な花（母の想い）となり、今年も僕の部屋でキレイに咲いています。

### <西東京センター及び東京 YMCA の主な予定>

- 6/5 幼児野外活動「にこにこ」6月例会  
小学生野外活動「ロビンソン」6月例会  
中高生グループ活動「TeenS」6月例会  
知的障がい児・者余暇活動「あおぞら・つばさの会」6月例会
- 6/7 サマープログラムWEB申込み受付開始（維持会員及び定例活動登録者）
- 6/8 サマープログラムTEL申込み受付開始（維持会員及び定例活動登録者）
- 6/9 サマープログラムWEB申込み受付開始（一般）
- 6/10 サマープログラムTEL申込み受付開始（一般）
- 6/11-12 知的障がい児・者余暇活動「シャベルズ・いづみの会」6月例会（一泊会）
- 6/12 発達障がい児グループ活動「Smile」6月例会
- 6/14 座学リーダートレーニング（リーダーの役割）
- 6/17-19 実技リーダートレーニング（東京 YMCA 山中湖センター）
- 6/24-25 実技リーダートレーニング（ぐんま YMCA 赤城キャンプ）  
実技リーダートレーニング（東京 YMCA 野尻キャンプ）

6月のハッピーバースデーデー 渡邊 大輔ワイズ（'81・6.23）出沼 一弥担当主事（'76・5・29）

6月例会（6・8）司会 渡邊大輔ワイズ 聖書・祈祷 山口直樹ワイズ  
受付 山本宏・松田啓ワイズ

6月のテーマ 「今期を振り返り来季への展望」メンバー全員でツデスカッションクラブの活動の方向性を再確認しクリアーにしましょう。